

平成24年度

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

事業報告書

開催日 平成25年6月12日

場 所 金谷コミュニティセンター

公益財団法人 金谷美術館

平成24年度事業報告

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

I はじめに

金谷美術館が設立してから3年が経過した。一般財団法人で設立した当美術館は平成24年2月に千葉県知事より公益財団法人の認定を頂き、公益財団法人として最初の1事業年度を過ぎた。

美術品の鑑賞だけではなく、地域の活性化を図るとともに、地域の歴史、文化と地域の自然環境を生かし、これらを利活用した地域の行事やイベントを開催し、多くのボランティアの協力による参加型の展覧事業を推進するという崇高な理念のもと運営を行ってきた。自然に親しみながら、賑わいのあるまちづくりを実現し、地域の地域振興の振興に貢献し、地域の文化、芸術、教育にも寄与することが金谷美術館の目的である。

公益財団事業も「美しいもの大切なものを、みんなで伝えのこし活かしていく美術館」であることを主眼に事業を展開してきている。

しかしながら財団自体の収益基盤は今なお脆弱であると言わざるを得ない。平成23年の大震災の影響があったとはいえ、限られた予算で年間4~5回の魅力ある企画展示に努めるも入館者数は伸び悩んでいる。また多くの制約の中、広報にも力を入れているがまだ知名度は行渡っているとは言えない。

当公益財団法人の事業は、公益財団法人に相応しい目的に沿った公益目的事業をより多く、積極的に展開して行くことにしているが、これらの事業は当美術館の独自の財政力では無理があり、多くの法人、団体、個人のご支援なくしては困難である。そこで、これらの団体の支援等を頂くためにたゆまない努力と真摯な経営改善に邁進して行くことが肝要であると考えている。

また平成24年度において募金活動を積極的に推進してきた結果、平成25年4月に寄付に対し「租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項」に規定される寄付金に対し税額控除を適用できる財団法人の承認を頂くことができた。今後は本格的に金谷美術館の使命と意義を多くの方に理解して頂き支援を仰ぎながら安定的に運営を行っていけるようにする。

II 公益における事業の概況

金谷美術館は、地域の町おこしの中、建設された美術館である。

近年、環境と文化、教育等のソフトの社会的基盤整備が、まちづくりには必要であるとの考えから美術館の社会的基盤整備が積極的に行われてきたがこれには多くの人と金と時間が必要であり、国や地方行政機関や公益的団体を主体に整備され、管理と運営が行われてきた。しかし近年は、財政事情の悪化により、地方公共団体等の管理運営によるものが少なくなっていることも実情である。

このような社会経済環境のなかで、あえて金谷美術館を開館したことは、疲弊する地域社会の活性化が緊急の課題であるとの背景がある。古より鋸山での石切りの歴史文化があり風光明媚な景色と恵まれた地域資源を有しながらも、過疎化、少子高齢化等、現状を打破するため、数多くの篤志家とボランティアの支援と協力を得ながら、この美術館を運営していきたい。

平成 25 年 2 月に行われた「バリアフリーコンサート」は、フコク生命保険相互会社の社会貢献活動とのタイアップで一流の演奏家の方をお招きしてのミュージアムコンサートを実施した。このようにメセナ事業に意識の高い企業との連携等、新しい潮流として今後の展開が期待できる。

III 平成 24 年度の公益財団事業の実施状況

1 美術館の展観事業

平成 24 年度中の金谷美術館の展示事業は、別表 1 及び別表 2 のとおりである。

展観事業の収支は非常に厳しい状況であるが、地域振興のため、各団体と連携を図りながら継続して展観事業の充実に努力し推進して行く。

2 平成 24 年度公益財団の展示事業と金谷美術館入館者数

平成 24 年度中の入館者数は 4, 983 人と、前年度の入館者数 6, 264 人に比較して、約 1, 281 名減少した。前年度において「海を越え支え合う子ども達展」などの入館無料の集客が 1, 500 名ほど少なかった事が減少の大きな要因であるが、一方有料の入館者は 250 名ほど増加した。

3 展観事業以外の美術館主催の事業

金谷美術館は、地域の街づくりの核となり、地域活性化、地域振興、地域の人材育成をも一体として実現し、このための関連行事を美術館が主催者となって、美術館の目的事業である次の行事を開催している（別表 1、2）。

別表 2 は、平成 24 年度中の事業すべてを掲載しているが、このうち公益財団事業としては、次の事業が実施されている。

(1) 人材育成事業（定款第 4 条第 2 号） 「ミュージアムコンサート」「バリアフリーコンサート」「トークイベント」

(2) 文化活動の指導助言（定款 4 条 3 号） 「写真展、スケッチ」「フラードーム、竹ドームワークショップ」

4 その他

美術委員による美術品の取り扱い講習

平成 24 年 10 月 31 日、金谷美術館美術委員の小野氏、松浦氏を講師に招き、美術館スタッフに対する正しい美術品の取り扱い講習を行った。

IV 運営組織の開催状況

第2回理事会、評議員会の開催

(1) 日 時 平成24年6月26日(水)

出席評議員(4名) 出席理事(5名)

議案①平成23年度事業報告

②平成23年度決算報告

③その他(公益財団法人金谷美術館の運営に関する基本方針、金谷美術館美術委員会の設立)

第3回理事会、評議員会の開催

(1) 日時:平成25年1月30日(水)

出席評議員(4名) 出席理事(5名)

議案①平成24年度事業報告

②平成24年度収支報告

③理事の辞任、監事の辞任、監事の選任

④その他(金谷美術館保存会設置)

第4回理事会、評議員会の開催

(1) 日時:平成25年3月27日(水)

出席評議員(5名) 出席理事(4名)

議案①平成24年度事業報告

②平成24年度収支報告

③平成25年度事業計画

④平成25年度予